



学校だより

おらほの名足

南三陸町立名足小学校
令和8年8月26日 No.6
南三陸町歌津字中山14番地



学校教育目標 「進んでかかわり、夢と志をもって、たくましく未来を切り拓く児童の育成」

めざす児童像 ○豊かに学ぶ子供 ○思いやりのある子供 ○心と体をきたえる子供

ホームページ：<https://www.town.minamisanriku.miyagi.jp/natari-es/index.html>

第2学期が始まりました

長い39日間の夏休みが明け、いよいよ2学期が始まりました。夏休み中、大きな事故やけががなく安全に過ごすことができましたのは、保護者の皆様の温かい見守りとご協力のおかげです。心より感謝申し上げます。始業式の日、校舎には子供たちの元気な声と笑顔が響き渡り、学校に活気が戻ってきました。今学期は80日間という長い期間となります。学習発表会や音楽祭、持久走記録会など、成長を実感できる行事がたくさんあります。また、日々の学習にも一層力を入れ、一人ひとりの可能性を伸ばす実り多き2学期にしてまいります。

始業式での校長先生の話

皆さん、おはようございます。

39日間の長い夏休みが明け、今日からいよいよ第2学期が始まります。大きな事故やケガもなく、終業式で約束した「自分の命は自分で守る」をしっかりと果たし、全員が元気にこの場所に揃えたことを、校長先生は心から誇らしく、そして嬉しく思います。

さて、久しぶりに学校に来て、皆さんの心の中はどうでしょうか。「もっと休みたかったな」「夏休みが楽しすぎて、少し寂しいな」と感じている人もいるかもしれません。

しかし、そう思うのは、皆さんがこの夏、豊かな体験をし、充実した素晴らしい時間を過ごした証拠です。

夏休みに蓄えたたくさんの思い出とエネルギーは、今日からの2学期、皆さんが大きく大きく成長するための大切な蓄えです。「休みが終わって残念だな」という気持ちを、「今日から新しい自分をスタートさせるぞ!」という前向きな力に変えていきましょう。

1学期の始業式で、東井義雄さんの「心のスイッチ」という詩を紹介しましたね。「よし、やるぞ!」と心に決めると、自分でも驚くような素晴らしい力が湧いてくるというお話です。1学期、皆さんは「やってみよう」を合言葉に、勉強はもちろん運動会や水泳記録会などで、最後まで諦めずに挑戦する姿を見せてくれました。また、挑戦する友達を「あったか言葉」で温かく応援する姿も学校中に広がってきています。

2学期は、一年の中で最も長い学期です。学習や運動、さまざまな行事を通して、じっくりと自分の力を伸ばすことができる「実りの学期」です。難しそうなことに会ったときこそ、「よし、やってみよう!」と心の中のスイッチをカチッと入れてみてください。失敗を恐れずに踏み出すその一歩が、皆さん一人一人の可能性を大きく広げます。そして、隣にいる友達が挑戦しているときは、温かい言葉と拍手で応援し合える、そんな名足小学校をみんなでつくっていきましょう。

先生方も、今日から皆さんと一緒に新しいスタートを切れることを心から楽しみにし、準備を重ねてきました。先生方は、皆さんの挑戦をいつでも一番近くで温かく見守り、応援する心強い味方です。先生方、そして友達とともに、充実した2学期にしていきたいと思います。

それでは最後に、全員で心の中のスイッチを入れましょう。準備はいいですか? 「よし、2学期もみんなで『やってみよう』!」

これで、校長先生のお話を終わります。

2学期の始業式で、XXXXXXXXXXさんが「2学期に頑張りたいこと」を発表しました。鼓笛隊での活動や日々の学習、係活動、学校行事など、たくさんの目標について堂々と意気込みを語る姿がとても立派でした。一日一日を大切に過ごし、実りある2学期にしてほしいと思います。